

第3期せせせ！子ども司書講座

貸出と返却 窓口サービスの体験

新聞

第4号



第3回講座で練習した窓口サービスの体験。今回の第4回講座は、その本番として実際に図書館のカウンターに立って利用者さんの対応を行いました。普段、図書館に来て、まず目にするのが、エプロンを着た図書館のお姉さんたちが立っている窓口ですよ。窓口では、本を貸したり、返してもらったり、本の相談を受けたりしています。また、窓口は利用者さんと図書館員がコミュニケーションをとる大切な場所でもあります。これまでも第1期生、2期生が体験しましたが、今年の3期生も楽しみにしていたという子どもがいまいました。

練習ではみなさんバツ千りでできていましたが、本番ではやっぱり緊張して、なかなか声がでなかったり、操作が難しくあたまが回らなくなってしまう場面がありました。けれども、最後まで恥ずかしがらずに、明るく笑顔で対応していました。図書館に来館した利用者さんも、同じ年くらいのお友達も興味津々でしたが、窓口でコミュニケーションをとる様子はどこか微笑ましく、図書館で働くスタッフさんも初心をおもいだす良い刺激になりました。体験中の子ども達は、まさに図書館員そのものでした。とっても輝いていました！夏休み期間なので、図書館に来る人も大勢いて、みなさん汗をかきながらがんばりました！



本棚の整理整頓

図書館には沢山の本があり、沢山の人が利用することをこれまで学習してきました。次に利用する人が見つけられるように、正しい位置に本を戻しておかなくてはなりません。全然違う場所に置いてしまうと、探すまでに時間がかかってしまいます。そのため、図書館では日々、本棚の整理整頓をしています。書架整理と呼んでいます。どんな本があるのか（自然と覚えちゃうよ）、古い本や、新しい本の入れ替えなど、書架整理にはいろいろな役割があります。

